

## 兵庫県立姫路短期大学同窓会館について

同窓会活動の拠点としての同窓会館を永年渴望しておりましたところ、昭和五十五年十月、姫路短期大学創立三十周年記念式典の知事挨拶の中の、「大正建築として文化財的価値のある本学舎を残したい。」との言葉を受けて、学舎の全面改築計画の中で取り壊されることになっていたのを改修保存していただくよう、同窓会長が知事にお願いしました。

その後関係各位にも働きかけてようやく正面門と本館の一部の保存が決定されました。会議や募金事務の場所もない中で、同窓会員への募金活動を開始し、学内の諸先生方、事務局の方々のご協力のもとで改修工事が始まりました。

同窓会理事・学内理事の惜しみない努力と、会員各位の協力により、一千八百万円の寄付が集まりました。この中から一千万円を改修費として県に寄付採納、八百万円で備品を整えました。

昭和五十八年十月三十日、同窓会館完成祝賀会を開き、知事より感謝状をいただきました。

この年、六十周年を迎えられた旧制姫路高等学校同窓会も記念事業のために募金活動を展開され、その中から母校学舎でもある本館改修工事のため同額を県に寄付採納されました。ゆりの木会館として生まれ変わり一階東半分と二階和室を姫路短期大学同窓会が、一階西半分を旧制姫路高等学校同窓会が使用することになりました。

私たちは、同窓会総会・理事会・同窓会事務・同窓会講座・展覧会・クラス会等、同窓会活動のため、この会館を有意義かつ大切に使用していきたいと思っております。